



JaLC Update

Japan Link Center (JaLC)
2021年1月21日



JaLC会員数推移

正会員：57機関 準会員：2,418機関（2020年12月時点）



JaLC正会員新メンバー (2020.2～2021.1)

海外日本人研究者ネットワーク

東京大学
社会科学研究所

国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)
脳情報通信総合研究所

名古屋大学
宇宙地球環境研究所

九州オープンユニバーシティ

中央経済社

TA株式会社 (Tokyo Academics)

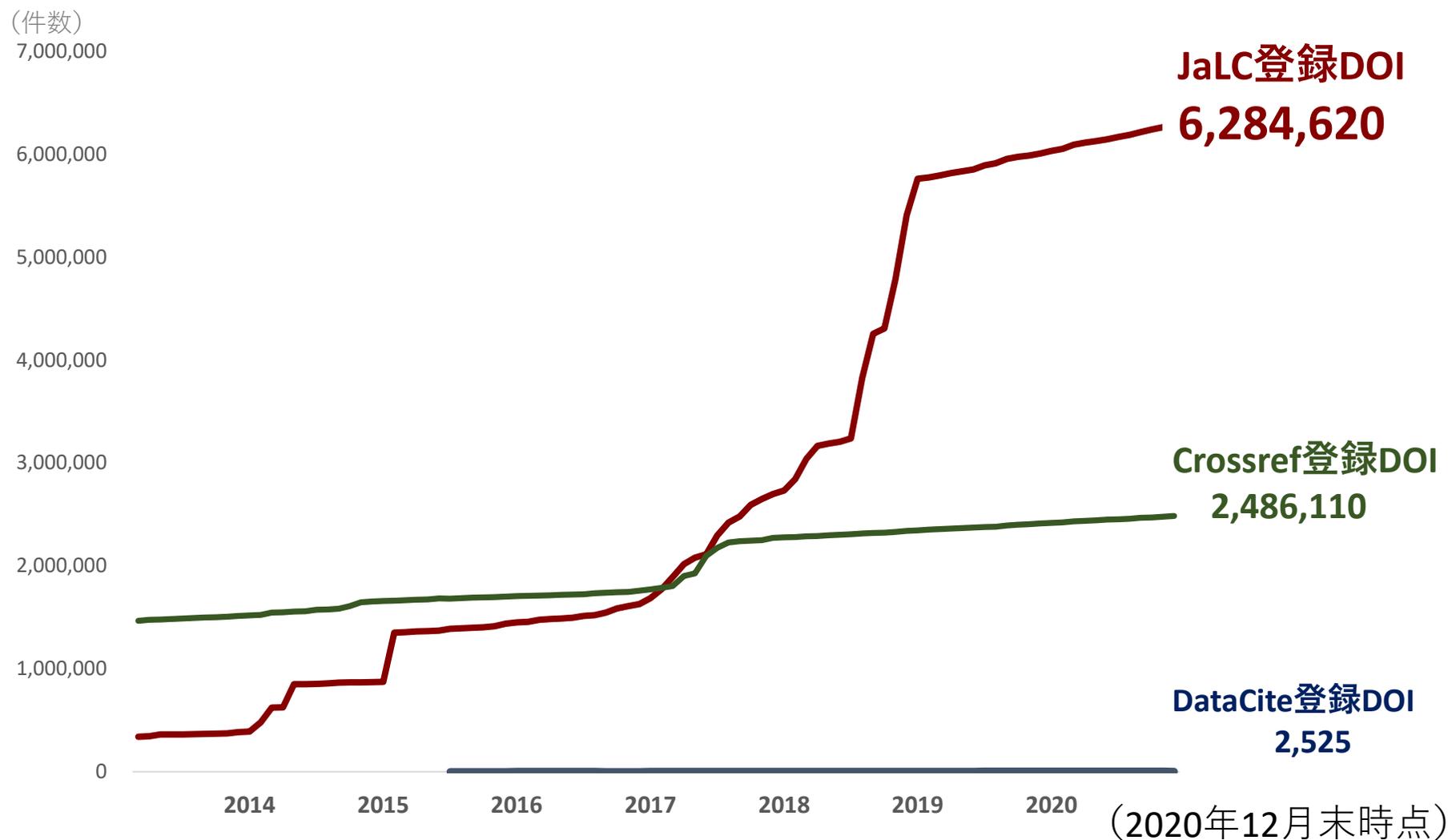
農業・食品産業技術総合研究機構
農業情報研究センター

気象庁
温室効果ガス世界資料センター

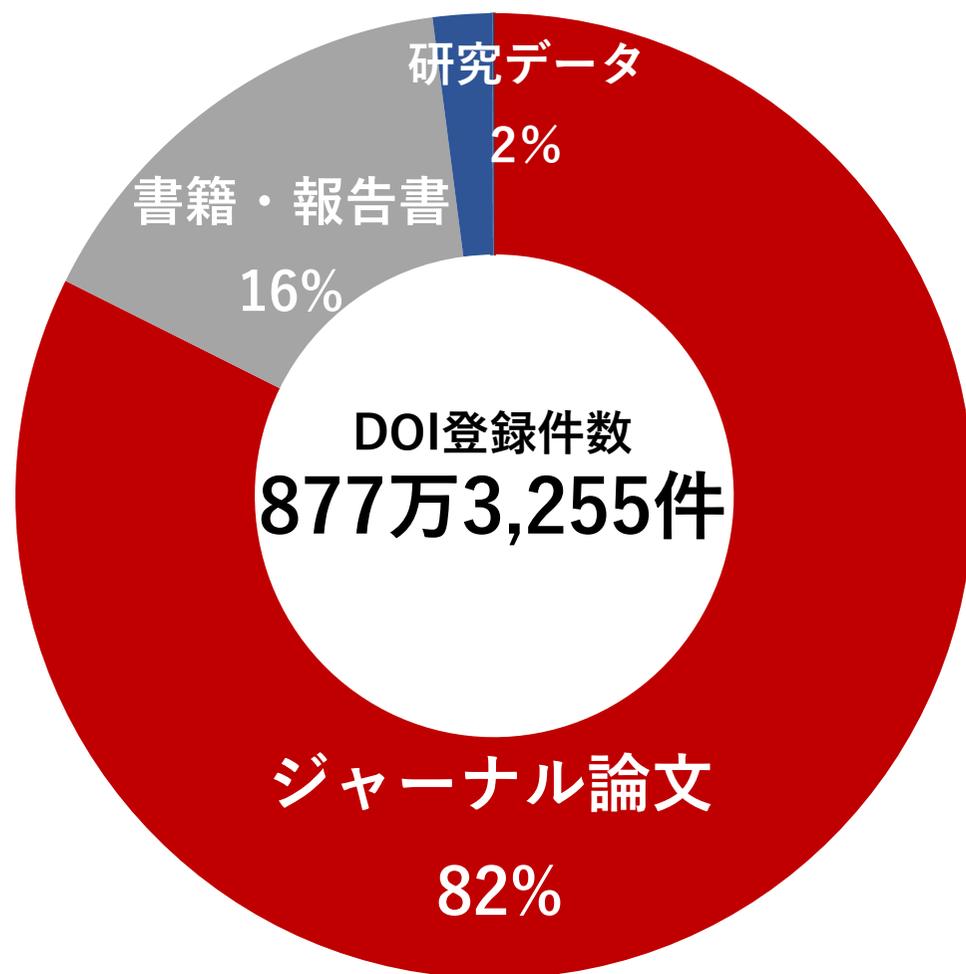
ソニーコンピュータサイエンス研究所

やまなみ書房

DOI累計登録件数推移



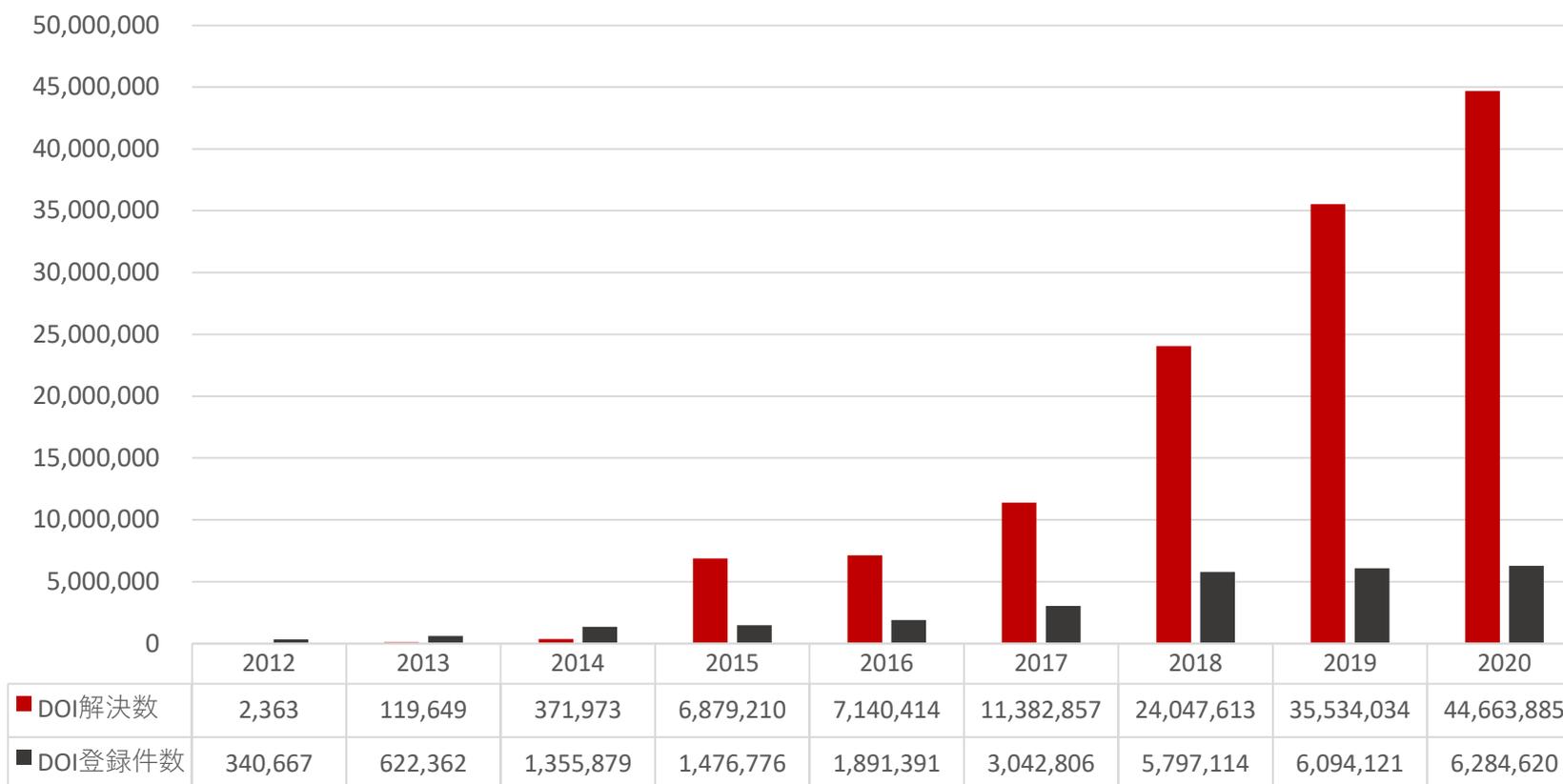
コンテンツ別DOI登録件数



■ ジャーナル論文	722万件
■ 書籍・報告書	136万件
■ 研究データ	17万件
■ その他	4,537件

(2020年12月末時点)

JaLC登録DOI解決数



	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
DOI1件あたりの解決数	0.0	0.2	0.3	4.7	3.8	3.7	4.1	5.8	7.1

2020年12月末時点

2020年度の取組み事項

JaLCストラテジー2017-2022

ジャパンリンクセンターは、今後の5年間を見据えた運営方針として「ジャパンリンクセンターストラテジー 2017-2022」を制定（2017年4月1日公開）

ジャパンリンクセンター5つのストラテジー：

https://japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_strategy2017.pdf

- i) DOIやメタデータがオープンに活用されることを推進します。
- ii) 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等の多様性を生かしたDOIの登録環境を整備します。
- iii) 学術において必要な様々なリソースにIDを付与する環境を構築します。
- iv) 研究データの利活用を促進し、オープンサイエンスの実現に貢献します。
- v) コミュニティの醸成に貢献します。

【ストラテジーを遂行するための5つのアクション】

1. 研究者が利用する様々なリソースにDOIを登録できるようにします。
2. 外部機関とのメタデータ連携促進、メタデータ検索機能の充実、DOIの利用状況の提供に取り組みます。
3. グローバルな研究ITインフラとして、研究に関わる他のIDサービスとの連携を強化します。
4. 研究環境の変化に応じた柔軟なサービス開発体制を構築します。
5. 研究者、研究機関、図書館員、図書館、出版社、教育者、教育機関、IT技術者、情報サービス提供者、研究助成機関、学会等を含む広範なコミュニティの醸成を図ります。

ORCID連携機能リリース

自動登録機能

- JaLC DOIが付与されたコンテンツを、研究者の業績情報としてORCIDに自動登録
- メタデータにORCID IDが登録されている必要がある



業績登録機能

- JaLCコンテンツ検索より自身の研究実績を選択し、ワンクリックでORCIDに業績登録



ORCID連携機能リリース



- JaLC DOIを活用して研究者の研究業績一覧を簡単に作成・管理可能
- 研究者が自ら登録する手間を省ける
- 信頼性の高い業績情報の登録
- 異なる識別子間の連携によって様々な視点からの検索が可能になり、コンテンツの流通を促進

**JaLCメタデータについて、
ORCID IDの登録を推奨します。**

メタデータオープン化の経緯

① 「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2017-2022」の策定

JaLCのDOIを保有するコンテンツへのアクセス拡大を目指し、メタデータオープン化を検討

② 第1回 JaLC 会員へのアンケート（2017年12月実施）

JaLCメタデータオープン化の方針についてアンケート

③ JaLC 関係者会議（2018年11月開催）

JaLC会員30名程度と運営委員会でデータオープン化に関する講演や議論を行う。

抄録についても許諾は必要としつつ一般公開を望む声が多く寄せられる。

④ 第2回 JaLC 会員へのアンケート（2019年1月実施）

関係者会議での議論をもとに、「会員、非会員の差異無く抄録を含めたすべてのメタデータの利用を可能とする」方針についてアンケート

②～④においてJaLC会員からの抄録を含むメタデータオープン化に関する要望が多かったことを受け、会員の合意を得たと判断。

メタデータオープン化の実施

参加規約・
運営規則改定

2019年10月 会員周知
2020年4月 施行

参考：「メタデータの
オープン化に伴うJaLC参
加規約および運営規則の
改正について」
「参加規約第8条の変更
について」

会員周知・
システム開発

2020年7月
抄録ライセンスフラグ
リリース

会員による抄録の許諾確
認・フラグ設定

段階的に
オープン化

2021年2～3月（予定）
JaLCコンテンツ検索拡充
一般者への抄録提供開始

メタデータオープン化の実施

■ JaLCに登録されたメタデータの利活用方法は、JaLC参加規約第8条に規定。

- ・ 書誌データ等は、使用目的や営利性を問わず誰でも自由に利用できる（第1項）。
- ※書誌データ等：書誌データ（標題、著者、収録ジャーナル名、収録巻・号、開始ページ、ISBN、ISSN等）、URI、引用情報（引用文献や引用データ等の引用に関する情報）
- ・ 抄録は、正会員、連携機関は利用態様を問わず無償で自由に利用できる（第2項）。※正会員はそのために必要な権利処理をした上で登録をする。
- ・ JaLCが正会員、連携機関以外の第三者に抄録を利用させる場合、事前に正会員の許諾が必要となる（第3項）。



利活用できるメタデータの範囲が広がり、メタデータ露出によるコンテンツの存在を広く知ってもらう機会や、学術情報流通の輪への参加機会の増加が期待される。

「抄録ライセンスフラグ」設定機能

- 「抄録ライセンスフラグ」設定機能リリース（2020.7.29）
 - 第三者による抄録利用について、登録者である正会員の諾否を示すことができる。
 - 「第三者使用可（allow）」「第三者使用不可（disallow）」のいずれかの値を設定。指定が無い場合には「第三者使用不可（disallow）」として処理。
 - 抄録の公開を望まない場合、「一括抄録情報登録画面」より登録している抄録を一括削除することが可能。

	公開	利用
抄録ライセンスフラグ 「第三者使用可」	○	○
抄録ライセンスフラグ 「第三者使用不可」	○	×
抄録登録なし	×	×

- 新参加規約（年会費制度改定）の周知（2020.12.23）
- 2021年度より導入
 - 正会員の入会時期について明文化。
 - 正会員の年会費をDOIの累計登録件数によってのみ定める。
 - 年会費請求時期を明文化。

正会員区分	DOI累計登録件数	非営利	営利
A	100,000件～	30万円	36万円
B	30,000～99,999件	20万円	24万円
C	10,000～29,999 件	10万円	12万円
D	3,000～9,999件	5万円	6万円
E	0～2,999件	2万円	2.4万円

※準会員の会費は正会員の定めによります。

- OAI-PMH情報提供機能拡充（2020.4.8）
（拡充前）ジャーナル・アーティクル
（拡充後）アーティクル（ジャーナル無しのものを含む）、書籍、研究データ等
- JaLC・RDUF Webサイトリニューアル（2020.5.20）
- ダッシュボード機能一部改修（2020.7.15）
 - 「登録情報変更申請」フォームを削除。
 - 「連絡先情報変更申請」フォームおよび「正会員コンテンツ追加削除申請」フォームを追加。
- JaLCコンテンツ検索機能拡充・第三者へ向けたJaLCデータ利用規約公開（2021.2月末予定）
第三者への抄録提供開始。

2021年度の取組み事項

2021年度の取組み事項（予定）

- 第三者への情報提供機能拡充
- JaLC剽窃チェックサービスの導入
- DOI登録対象拡大へ向けてのニーズ調査
- JaLC・RDUF 英語版Webサイトの充実
- 外部ディスクバリーサービスとの連携検討
- JaLCデータベース精度向上へ向けた取り組み

ご意見・ご要望等がありましたらお寄せください
jalc-contact@jst.go.jp

ご清聴ありがとうございました